

近くて遠い存在？ 台湾ってどんなところ？

授業内容

台湾は1895年から1945年までの50年間は日本でした。そのため高齢者は今でも日本語を話すことができます。世界でも有数の親日国である台湾は、東日本大震災の時、世界で一番義援金を送ってくれましたことは記憶に新しいと思います。しかしながら、中国との政治的な関係から、日本と台湾の間に国交はありません。国交がなくても、民間の交流は盛んで、経済だけではなく観光などでも多くの人の行き来がありますが、残念ながら日本で得ることができる台湾の情報は観光に関する以外、非常に限られています。この出前授業では、現在の台湾について、台湾の歴史・社会・文化などに焦点を当てて紹介していき、近くて遠い国である台湾を紹介していきます。

- ・台湾に関する基礎情報
- ・台湾と日本のつながり
- ・台湾の歴史・社会・文化

この講義で身につくこと

近くて遠い存在である台湾について、日本との関係について最新の情報を基にして紹介していくことにより、台湾への興味関心を引き出します。そして受講生が海外の文化、特に日本が属しているアジア地域に目を向けることにより、国際感覚を身につけるきっかけとなります。

所要時間

1時間



高崎商科大学
商学部
准教授 萩原 豪

<専門分野>
環境教育・ESD(持続可能な開発のための教育)
エネルギー教育
環境政策
エネルギー政策
地域研究(台湾・沖永良部島)観光まちづくり